

農地・水・環境保全向上対策

平成23年度農地・水・環境保全向上対策

四日市・桑名管内共同イベント

「北勢地域農地水の絆」が開催されました



四日市農林商工環境事務所の熊崎所長 主催者挨拶

平成23年12月2日(金)に三重県四日市庁舎において、四日市・桑名管内の農地・水・環境保全向上対策に取り組む活動組織(四日市市、鈴鹿市、亀山市、菰野町、桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町)や三重県、市町、水土里ネットみえの関係者も含めて140名余りの参加者を集めて「北勢地域農地水の絆～私たちの地域での絆を深めるために～」が盛大に開催されました。

このイベントは平成21年度から農地水の絆と題して環境に関わる講演と活動の参考になりそうな活動組織の活動内容の発表を行ってきましたが、本年度は共同活動の最終年度ということで桑名管内の活動組織と共同で開催されました。

イベントは主催者代表の三重県四日市農林商工環境事務所の熊崎圭介所長の挨拶の後、新博物館整備推進室の今村隆一氏が「害虫と益虫の違いはあるの?」と題し、昆虫の生態について興味深い基調講演を行い、続いて昨年度に基調講演を行い大変好評であった東海タナゴ研究会代表の北島淳也氏が「タナゴの棲む私たちのふるさとを未来に」と題し、その後の活動などの近況報告を行いました。

休憩をはさみ、共同活動の最終年度ということで過去にみえのつどいで表彰を受けた4つの活動組織の取組みについて発表がありました。

最後に、参加者と農政局、協議会との意見交換が行われ、

最終年度の活動、平成24年度以降の活動について様々な質疑応答がなされ、有意義なイベントを終了しました。

①田光資源と環境を守る会(菰野町)

〔賞の名称〕

みえのつどい“2011”優秀活動知事賞

みえのつどい“2008”優秀活動会長賞

(営農活動部門)

〔活動内容〕

- ・美しい自然、資源、環境と生態系の保全保護を目指す活動
- ・地域住民と都市住民との交流を図り地域の活性化を図る活動
- ・子供や学校との関わりにより地域の文化や貴重な資源の未来への継承を図る活動
- ・食の安全安心、地産地消、環境保全型農業の推進と産地のブランド化による地域農業の活性化を目指す活動

以上、4つの目的を掲げ活動している。



取組み発表(田光資源と環境を守る会)

②かれがわふる里活動隊(桑名市)

〔賞の名称〕

みえのつどい“2008”優秀活動
三重県土地改良事業団体連合会長賞

〔活動内容〕

生物調査で発見された希少種である「ヒメタイコウチ」や「ホトケドジョウ」の保護のための保全活動と環境保全のPR活動について行政学校と連携して「桑名市文化祭への出展」「田んぼの生き物観察会の開催」や小学校による田植え・稲刈りの農業体験などのイベントを開催している。

又、集落を中心とした付加価値の高い営農を目指して減化学肥料、減化学農薬栽培に取り組みブランド米や独自ブランドの日本酒等を生産している。



取組み発表(かれがわふる里活動隊)

③どじょっ子クラブ(いなべ市)

〔賞の名称〕

みえのつどい“2010”優秀活動パブリシティー部門

〔活動内容〕

生態系保全、水質保全、景観形成、化学肥料や農薬を50%減らす営農活動の4つに取り組む。「みんなで一緒に楽しい思い出のページづくり」の呼びかけで活動を開始。

小規模な集落であるがさまざまな活動を企画し、どじょっ子通信によりPRすることで地域の住民が年齢、農業者、非農業者を問わず活動に参加している。



取組み発表(どじょっ子クラブ)

④緑ゆたな北小松を守る会(四日市市)

〔賞の名称〕

みえのつどい“2010”優秀活動会長賞(営農活動)

〔活動内容〕

集落内全農家が参加した法人化組織「農事組合法人キタコマツファーム」を設立。大区画ほ場で化学肥料をできるだけ使用しない水稲、小麦、大豆を栽培。

コシヒカリは人と自然にやさしいみえの安心食材表示制度にも登録。

学校給食や集落内農家へ提供。又、昔ながらの米作りを消費者や地域住民に体験してもらう「三世代交流による米作り」やとうふ作り、みそ作り等地産地消にも取り組んでいる。



取組み発表(緑ゆたな北小松を守る会)